

# 京都産業大学同窓会 宮崎県支部便り

2013(平成25)年  
第6号

発行日 2013年1月1日  
発行 京都産業大学  
同窓会宮崎県支部  
E-mail ksu383ki@yahoo.co.jp



## ごあいさつ

宮崎県支部 支部長 佐藤 知徳

謹んで新年のお慶びを申し上げます。  
京都産業大学卒業生の皆様には、日頃から同窓会運営につきまして、温かい御支援、御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

既にご承知の方も多いと思いますが、京都産業大学では、2015年の大学創立50周年に向け、「むすびわざDNAプロジェクト」を始動させたところです。

建学の精神を礎に、学内外から求められる新たな大学像を追求し、専門知を、さらに集合知へ。独創を、さらに共創へ。「むすびわざDNAプロジェクト」は、5つの志に基づき、次代に向けて構想しています。

5つの志とは、「挑戦せよ」「航海せよ」「自立せよ」「熱中せよ」「共鳴せよ」。学内外のステークホルダーと新たな関係を「むすび」、新たな価値を「産み出す」、真の大学像を見据えたプロジェクトです。我々卒業生としても、プロジェクトの主旨を十分に理解し、大学とともに、京都産業大学のますますの発展に尽くしたいところで

す。

また、一昨年夏から宮崎で合宿をしている京都産業大学サッカー部は、昨季関西学生サッカー1部リーグに昇格し、リーグ12大学中、9位となりましたが、2部リーグとの入れ替え戦に勝って、1部残留を決めました。昨年8月の合宿では、A・B両メンバーとスタッフをあわせ、約80名が西都で汗を流しました。今季の飛躍を期待し、ぜひ応援をよろしくお願いします。



ここ数年、相次ぐ様々な災害に見舞われた宮崎ですが、高速道路の一部開通や、全国の和牛大会で宮崎牛が連続日本一になるなど、少しずつ明るいニュースを耳にするようになってきています。このようなよい流れにさらに弾みをつけ、希望の年にしていきたいものです。

新しい年が、京都産業大学と卒業生の皆様にとりまして、希望にあふれた、活力ある、明るい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

## フェイスブック宮崎県支部開設

昨年5月、フェイスブック京都産業大学同窓会宮崎県支部を開設しました。

インターネットの交流サイトフェイスブックは、世界の利用者が10億人と言われ、世界の7人に1人が利用していることになります。



宮崎県支部としても、経費がかからず手軽に情報を掲載できるので、京都産業大学や宮崎県支部に関する

様々な情報を、このフェイスブックを通じて提供していこうと考えています。

フェイスブックは基本的に実名登録なので、躊躇される方もおられると思いますが、宮崎県支部のフェイスブックは登録してい

なくても、閲覧できます。次の URL にアクセスすると、アカウント登録を促す画面が表示されますが、その画面は「閉じる」をクリックすれば、誰でも閲覧できます。登録していないと、書き込みができないなどの制約はありますが、とりあえず登録しなくても大丈夫です。皆様のアクセスをお待ちしております。

なお、京都産業大学の卒業生が自由に書き込んで交流している「京都産業大学 FB 同窓会」も賑わっています。こちらは、フェイスブックにアカウント登録した上で、管理人に申請し、承認された方だけがアクセスできます。申請を希望される方は、宮崎県支部事務局までご連絡ください。

フェイスブック京都産業大学同窓会宮崎県支部  
<http://www.facebook.com/ksumiyazaki>

京都産業大学FB同窓会

<http://www.facebook.com/groups/119985444800760/>

## 会員短信

あれから40年・・・

井上 彰(昭和51年経営学部卒)

京都産業大学を知ったのは、ある方との偶然の出会いである。夏の高校野球県大会も早々と敗退。時々遊び程度に放課後練習に参加し野球を楽しんでいた10月頃。

韓国高校選抜チームが九州各県で親善試合を行うとのことで、宮崎代表として、その練習に向かうバスの中、京都にあるM石油のUさん(当時、産大野球部後援会)と偶然にも一緒に乗り合わせ、野球バッグを担いでいた私に声を掛けられたのが始まり。既に進学先も決まっていたが、1か月程して、当時の大学野球部監督他から、「京都産大で野球をやってみないか？」そういうことで、私の進学先は急遽変更となった。

大学入学は昭和47年。3月に入ると、野球部も温暖な地でキャンプを張る。幸いにも、その年は日南市天福球場であった。野球部の先輩、日南高校出身、中島清己さん(一昨年2月急逝)のお世話により実現したと聞いている。木戸荘に約2週間滞在したが、日南でのキャンプはこの年限りであった。天福球場は、広島カープが利用しているだけにすばらしく、環境や天気にも恵まれ申し分なかっただけに、以降中止になったのは残念であった。

当時、産大は関西六大学の下部組織、京滋大学野球リーグに属し、向かうところ敵なし。幸いなことに私も、1回生の春のリーグ戦より登板の機会を得て、4～5試合ほど投げさせてもらった。当時、関西の大学野球は、関西六大学を頂点に阪神、京滋、近畿による3連盟を下部組織としたピラミッド構造の「関西大学連合」で各リーグ1位が優勝決定戦を行い、その覇者が関西六大学最下位チームとの入れ替え戦に臨むことが出来るもので、このリーグ戦に勝利し、待望の関西六大学昇格を果たした。関西の雄、関西学院大学を破っての昇格である。その年の関西六大学「秋」のリーグ戦より加盟した産大は初戦から5連敗したものの、先輩の前田さん(兵庫報徳学園出身)梶谷さん(島根県立瀬摩高校出身)が残り6試合を全勝し、堂々3位で終了した。

私も3回生になると、待望の「関六」で投げれると期待感でいっぱいであった。当時の「関六」は同志社大、関西大、大商大、近畿大、大院大。忘れもしない春のリーグ戦「関六」初登板は近畿大学戦で、非常に緊張していたのを覚えている。日生球場(現在取り壊されているが、当時近鉄バファローズの本拠地)のマウンドに立った時の事は今でも思い出す。中でも同志社には田尾安志(投手で4番、登板しない日は野手と

して試合出場、3年時に春秋2季連続で首位打者。関西六大学リーグでは、打者として、打率367、9本塁打。大学2年時から3年連続で日米大学野球の日本代表に選出。後にプロ野球、中日、西武、阪神に在籍)がいた。彼との対戦も今では苦い(良い)思い出として残っている。お互い先発し、3回まで、無得点に抑えていたが、同志社は4回表先頭打者から3連続ヒット、ノーアウト満塁で左打席に田尾。西京極球場の右中間芝生席に満塁ホームランを打たれるのであるが、その痛烈な打球は今でも脳裏に焼き付いている。



そのような事もあって「関六」2シーズン目の春のリーグ戦は、前年度の勢いはなく最下位。西京極球場での立命館との入れ替え戦に回る羽目になる。立命は「関六復帰」に向け大応援団が大挙押し寄せ異様なムード。初戦はエース梶谷さんの好投もあり勝利。私も第2戦、勝てば「関六」残留が決まるその大事な試合に先発させてもらったものの、大応援団の前での登板で緊張しボールが先行。四球と失策が重なり試合を壊してしまい大敗。結局、第2戦での敗戦が尾を引き、第3戦も僅差で負け「関六」から下部リーグへ降格となった。38年前の出来事であるが、今でも大変申し訳ない事をしたという気持ちが私の心に強く残り、振り返っても苦い思い出である。

現在、大学野球部も漸く長い低迷から抜け出し、昨年秋のリーグ戦で15季ぶり8回目の優勝を果たし嬉しい結果を残してくれた。後輩である勝村監督によると今年はかなり期待が持てそう。リーグ戦で優勝し、6月に神宮球場で開催される全日本大学野球選手権に是非とも出場し、勝って学歌と一緒に歌いたいものだと思っている。

最後に「仁義なき戦い」のエキストラの話しを。野球部在籍のおかげで、おかしなバイトの要請があった。その条件が「全員、丸坊主でないと困る？」というもの。太秦の東映撮影所で12月か1月の底冷えのする寒い日であったことは、はっきりと覚えている。とにかく寒かった。設定は刑務所の囚人役。坊主頭でないといけないのだ。

・(納得。)灰色の囚人服に坊主頭、ゴムの草履を履き撮影所へ。場面は、刑務所内の食堂で食事がまずくて不満。主演の菅原文太が「こんなメシ食えんのじゃあ～」を合図にアルミの食器を投げて暴れるシーン。





## 京都産業大学サッカー部を応援しよう

一昨年夏と昨年春夏の合宿を宮崎で行ない、昨季から関西学生サッカー１部リーグに昇格した、京都産業大学体育会サッカー部は、昨季７勝１１敗４分け、勝点２５で、１部リーグ１２チーム中９位となり、２部リーグとの入替戦に回りましたが、入替戦で京都学園大学を延長の末勝利し、１部残留を決めました。

今年の春合宿がまた宮崎になれば、わかり次第、フェイスブック等でお知らせします。１部リーグの上位３チームは、全日本

大学サッカー選手権大会に出場することができます。

サッカー部には、宮崎・日章学園高校出身の上大田悟選手（２回生、ポジション：ＤＦ）がいます。京都産業大学サッカー部と上大田選手の応援をよろしくお願いします。



上大田選手、西都合宿で

## 宮崎経済をリードするキーパーソンに



県内の主な書店で販売されていますが、宮崎日日新聞が昨年８月に発刊した書籍「宮崎経済をリードするキーパーソン１００人 第１弾」に宮崎県支部会員で、興枙豆腐（有）代表

取締役の興枙栄二さんが掲載されています。京都産業大学ＯＢが、宮崎のキーパー

ソン１００人で紹介されることは、大変喜ばしいことです。

宮崎県支部総会後の懇親会では、この興枙豆腐の豆腐セットを景品の一つにしており、長年好評を得ていますが、このセットには、最近菜豆腐も追加されたとか。高千穂田舎とうふは、昔ながらの固い豆腐で、県内の主なスーパーで販売されており、特に、すき焼きや鍋に合います。

なお、この書籍の記事で興枙さんが、京都産業大学中退と記載されていますが、この記事は誤りで、興枙さんは本学の卒業生です。ご承知おきください。

## ハイランダーズ田中史朗選手を応援しよう

ラグビーワールドカップ日本代表宮崎合宿や所属チームのパナソニックワイルドナイツの宮崎秋合宿で、これまで何度も宮崎入りしている、京都産業大学ラグビー部出身、田中史朗（ふみあき）選手は、昨年４月からニュージーランド（ＮＺ）に留学。オタゴ州代表として、活躍していましたが、昨年、世界最高峰リーグと呼ばれる「スーパーラグビー」のＮＺ・ハイランダーズに入団すると報道されています。

田中選手は、昨年１０月末に一時帰国し、日本代表として、１１月の欧州遠征にも参加。４戦中３戦で先発出場しています。スーパーラグビー入りしたのは、田中選手

が日本人として初の快挙です。スーパーラグビーは本年２月２２日開幕。日本人としても小柄な田中選手ですが、宮崎に縁のある選手です。しばらく宮崎に來れないのは、少し残念ですが、田中選手の今後ますますの活躍を期待し、ぜひ応援しましょう。



## 先輩の足跡を訪ねて

ＮＨＫ「鶴瓶の家族に乾杯」で、笑福亭鶴瓶師匠が２００６年に日南口ケで訪れた際、立ち寄った、日南市飢肥にあるお店です。

服部亭

飢肥大手門の近くです。石垣や生垣も昔のままに保存され、まさに昔をそのままに今に伝える武家屋敷通りにあります。飢肥藩の御用商人の屋敷を利用した、おしゃれ

な和食・甘味処です。

観光はもちろん、ビジネスやデートにも使えるお店でしょう。城下町の由緒ある豪邸で素晴らしい庭を眺めながら、食事やお茶を楽しめますよ。

